

2021年4月19日の日本経済新聞朝刊「交遊抄」にて弊社代表取締役社長がコラムで紹介されました。

交遊抄

180度違う世界 小川 靖展

古本屋チェーン「古本市場」を展開するテイターの藤原克治社長は東海銀行時代の同期である。1997年に初めて大阪に赴任した時、一緒に机を並べていた。彼は新規顧客の開拓に走り私は企業の債権回収と、仕事の内容は180度違ったが公私ともに親しかった。

職場をともにした3年の間、イチロー選手がオリックスでライトを守っていた試合を観戦し、関西大学出身の彼に大阪の飲み屋もあちこち案内してもらった。終電を逃してしまった時には、自宅に泊めてもらったこともあった。

彼の一番の良さは何とも言えないあたりの柔らかさだ。リーマン・ショック後の厳しい時代でも、彼と話をすると心が癒やされたものだ。互いの転職先も全く異なる業界だったが、情報交換を兼ねて飲み会を続けている。彼が転職した小売業界の話は不動産業界の私には新鮮な内容が多く、特にマネジメントの話は大変勉強になっている。

最近、新型コロナウイルス禍で少し時間に余裕ができたので、新しいことに興味を持つようになった。頭を柔らかくするために今更だが任天堂のゲームソフト「あつまれ どうぶつの森」にチャレンジしたいと考えている。もちろん、古本市場で購入するつもりだ。（おがわ・やすひろ〓サムティ社長）